

- 1 … 2011年に向けて
(財)埼玉県サッカー協会 副会長/専務理事 横山謙三
西武台高校、ベスト8～全国高校サッカー選手権
- 2 … 年頭座談会～フェアプレー日本ーを目指して
- 4 … 平成23年度予算編成の方針
公益法人制度改革について
レジスタFCが初優勝～埼玉県第4種選手権大会
日本、残念！～2022年FIFAワールドカップ™はカタールに決定
- 5 … 大会記録
- 12 … 審判委員会より・インフォメーション・編集後記



●発行/発行人：会長・相川宗一 編集人：高橋 明 ●発行所/(財)埼玉県サッカー協会 住所：〒330-0074さいたま市浦和区北浦和1-21-18雁ヶ音ビル204号室
Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 http://www.saitamasfa.com/ (年間購読料 1500円)

2011年に向けて (財)埼玉県サッカー協会 副会長/専務理事 横山謙三



新年明けましておめでとうございます。本年も埼玉サッカー発展のため、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

現在、SFAは公益法人制度改革に伴い、SFAが財団法人として、国の財団となるか一般財団になるか、どちらかの方向性を年度内に決定し、24年度から新生SFAとなるよう計画しているところです。現在総務委員会を中心に検討してもらっていますが、これはSFAにとって大きな選択であり、皆様のご意見を聞きながら進めてまいります。

また、今年も「SFAミッション」の実現に向けて、さらに邁進していかなければいけません。昨年、「スポーツの根幹と成すフェアプレーが重要と考え、「(財)埼玉県サッカー協会はフェアプレー日本ーを目指します。」というスローガンを掲げました。フェアプレーの意識を持ち、サッカーが正しく発展することを願っています。

フェアプレーの精神はスポーツの根幹です。企業に例えるならば、企業理念の実現と同じことなのです。意識しなければ、疎かになってしまうものであり、忘れてはいけぬものなのです。そしてフェアプレーの精神を育むことは、「人づくり」に不可欠なことです。今、社会の乱れが叫ばれていますが、「活気、秩序、潤い」を持った人々が多く関われば、社会は是正されるのではないのでしょうか。そういう「人づくり」を目指すためにも、フェアプレーの精神は重要なのです。

さらに「人づくり」のためには、スポーツを正しく行うことが

必要であり、同時に正しく指導できる指導者が必要となるのです。もし、正しく指導されなければ、子どもたちはまったく違う方向へ行くこともあります。指導者の責任は大きいのです。

「SFAミッション」が実現できれば、サッカー界はもちろん、社会全体がよくなってくれると信じています。ただ、「試合に勝った、負けた」だけではなく、指導者はフェアプレーの精神を常に持ち続けていただきたいのです。

サッカーは人がするものです。ですから、SFAはサッカーを通じての「人づくり」が社会貢献だと考えています。そのために、子どもたちには全員にサッカーをするチャンスを与える環境を整えたいのです。次のステップとしては、そこでサッカーを好きになった子どもたちには、中学生になっても楽しくサッカーを続けられるよう環境を整えたいのです。4種においては、リーグ戦という形で整えましたが、3種においては、特に中学校ではリーグ戦以前に、指導を受けられる環境が不十分です。そのためにサッカーを諦める子どもがいたり、遠くにあるクラブまでわざわざ通わなければならないのです。地元で中学校で充分サッカーができる環境を整えたいと思っています。今年も引き続き、3種、特に中学校の指導環境の改善を継続して取り組んでいきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

西武台高校、ベスト8 ～第89回全国高等学校サッカー選手権大会

国立にもう一步だった。ラストゲームとなった準々決勝の立正大淞南戦、先制を許し、一度は追いつくものの、また突き放されるという苦しい80分だった。しかしながら、ロスタイムに同点。ベンチもスタンドも、その一瞬、乱舞した。最後の最後まで諦めない気持ちがゴールにつながった。国立が見えた瞬間でもあった。結果は直後のPK戦に委ねられ、4対5。悔しさが募った。

92年の武南高校以来、18大会ぶりの国立はならなかったが、埼玉サッカーの復活を印象づけた大会となった。県民の皆さんも注目していただいたと思う。改めて、西武台高校の選手たちを称えたい。そして、彼らに関わった多くの指導者に感謝を申し上げます。引き続き、いい指導をお願いします。県全体として、がんばっていきましょう。

12月30日～1月10日	国立競技場他
1回戦	西武台 3-1 香川西
2回戦	西武台 2-1 九州国際大学付属
3回戦	西武台 2-0 作陽
準々決勝	西武台 2-2 立正大淞南 (4PK5)

※優勝は滝川第二高校



3回戦 西武台 vs 作陽



準々決勝 西武台 vs 立正大淞南

年頭座談会

「(財)埼玉県サッカー協会はフェアプレー日本一を目指します」 —SFAのスローガン実現に向けて

出席者 柱谷幸一 浦和レッドダイヤモンズGM
 (敬称略) 岡本武行 大宮アルディージャGM
 木村 滋 (財)埼玉県サッカー協会 審判委員会・指導部長
 柴崎康之 (財)埼玉県サッカー協会 フェアプレー・規律委員長(司会)
 高橋 明 (財)埼玉県サッカー協会 事務局長/広報委員長



柴崎 本日はご多忙にも関わらず、お集まりいただき、ありがとうございます。フェアプレー・規律委員長の柴崎です。

昨年、SFAは「フェアプレー日本一を目指します」というスローガンを掲げました。この取り組みについて、皆さんからご意見をいただきながら、県全体としての盛り上がりを作りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

まずはお一人ずつ、一言いただきたいと思っております。岡本さんから順にいかがでしょうか。

岡本 はい、大宮アルディージャのGMの岡本です。相手選手を含めたリスペクトという思いは、スクールなど育成から着手しています。相手の気持ちに立って、クリーンなプレーを目指していきたいと思っています。



岡本武行氏

柱谷 浦和レッズの柱谷です。GMになって、やっと1年になります。就任する際、選手に対して「結果、内容、そしてフェアプレーが一致する

ように」と話しました。結果的には10位に終わったことは残念でしたが、この2年、個の力に頼るサッカーからインシアティブを取って面白いサッカーに変えていこうとしました。これは内容にもこだわることです。そして、レッズを外から見ることが長かったのですが、選手たちがレフェリーを困っている場面を目の当たりにしていました。これはよくないことです。レッドカード、イエローカードを減らしていこうと選手たちに働きかけました。結果的にレフェリーやマッチコミッショナーの方々に「クリーンになったね」と言われるようになり、責任者として、フェアプレーの面ではいい1年だったと思っています。

木村 審判委員会の木村です。審判の育成強化担当をしております。これまでも選手の安全を確保し、かつ選手の持てる力量を発揮できるジャッジができるレフェリーの輩出に努めております。パーフェクトな試合は難しいですが、意識は浸透させていこうと毎月、研修会を行っております。

高橋 事務局長で広報委員長の高橋です。JFAのマッチコミッショナーとして3年担当させてもらっています。個人的には、試合前にはリスペクトプログラムを徹底させています。相手選手、ルール、お客さん……様々なものに対して尊重することを徹底させています。しかし、難しいところです(苦笑)。

そういえば、先月発行の「JFA NEWS」でJFLのSAGAWAが4年間、異議が0ということで紹介されていましたね(43ページ参照)。

柴崎 異議が0ですか。これはすごいですね。しかし、こういうことはできるものなのですか。

柱谷 改善できると思います。なぜフェアプレーをするのかを、選手たちが納得すれば、ファールは減るし、レフェリーを困ら

りもなくなります。先ほども言いましたが、勝って、内容がよくて、かつフェアプレーだったという試合が一番いいことだと理解してもらうことが重要です。勝っても「汚いじゃないか」と言われれば、その勝利は本物ではありません。だいたい失点の40%がセットプレーからのもので、特にペナルティエリア付近でファールを犯すことで失点は多くなります。またそういう場面でレッドカードをもらうと一人少なくなるわけで、ファールすることがよくないのです。「ここはファールしないと」なんて言っていることが、守備力がないということ。こういう話をすると、だいたい選手は理解してくれます。

岡本 昨シーズンの反則ポイントでは、18チーム中17位でした。我々は子どもたちの夢であり、憧れの選手にならなければなりません。警告が多かったことについては、選手個々に話をしているところです。もちろん、サッカーの質もありますが、やはり向上していかなければいけません。

柴崎 プロは特に「見られている」立場にあります。ぜひ見本になっていただきたいですね。

柱谷 指導者ライセンスを取得していく中で、サッカーが好きな仲間ならば、社会のルールを守ろうねという話が一番印象に残っています。指導者がルールを守り、フェアプレー精神を学んでくれたら、指導を受ける子どもたちは何十人といえるのですから伝わるのではないのでしょうか。いい指導者が増えれば、自然とフェアプレーは浸透すると思います。

岡本 指導者は大事ですね。様々な社会問題がありますが、スポーツを通じた人間形成を伝えていきたいですね。社会に出てからも役に立つことです。

柴崎 高校は指導者次第ですね。監督同士の握手など、指導者が身を持って行動しないとダメです。そして指導者がフェアプレーを理解して、その精神を伝えていくことが大事ですね。

柱谷 そもそも、指導者の普段の指導が試合に出るものです。特にトレーニングからしっかりとした守備をしていれば、ファールや警告はなくなると思います。手を引っ張ったり、身体を当てたりするのは、守備力がないからです。普段のトレーニングが大事です。Jリーグを見ても、上位のチームはファールが少ないですよ。

岡本 それはありますね。あと、指導者については、振る舞いも気になるところです。選手に移ってしまうことがあります。指導者の影響は大きいんです。それも、下の年代に行けば行くほど、大きいんです。

柱谷 レフェリーの立場だと、服装を直したいと思いませんか?よく「ユニフォームの裾が出ている」と注意されるんですよ。

木村 選手は一生懸命やっていますから(裾が)出てしまうんで



柱谷幸一氏

すよね。でも、プロが出していると、すぐに高校生は真似してしまいます（苦笑）。100%しっかり入れて、ということは難しいでしょうが、テレビや新聞にも映りますから、直せる時間があったら、直してほしいですね。

高橋 ただ、海外ではそういうルールがなくて、日本だけなんです。

柱谷 そうなんです。では、選手とレフェリーとのコミュニケーションはどうですか？

木村 レフェリーに対しては、選手への言葉づかいは表情を見て対応するようには言っています。選手にとって不本意なジャッジもあると思います。実際にレフェリーが見切れていないかもしれない。ですから選手の表情からそういうことを感じ取らないと、上達しませんし、高いレベルでのゲームについていけなくなりますね。

ただ、選手が一生懸命にやった上でのファールに対してと意図的なファールに対してでは、笛の吹き方が違うと思います。

柱谷 選手も自分でファールをしたことについては、わかっています。レフェリーにいい対応をしてもらったら素直に下がりますが、「ファールだ！」と強く言われると「なんで？」と言いたくなることもありますね。

木村 何か足りないものがあるから、なんででしょうね。選手も始めからケンカ腰ではありませんからね。

柱谷 そうなんです。選手とレフェリーが一緒になっていいゲームを作っていくんですよ。試合前に選手がレフェリーと握手をするのは、「（今日の試合は）任せた」という意味ですよ。これを理解しないとダメだと思います。

高橋 これも「JFA NEWS」で松崎審判委員長が書いていることですが、「きつく、しっかりと相手の目を見て握手を」と。これは、相手をリスペクトし、サッカーをリスペクトしている行為なのです。

柱谷 形だけではなく、ということですね。

さいたまダービーで「フェアプレーをアピール」

柴崎 SFAは09年に組織改正をして、「規律・フェアプレー委員会」を「フェアプレー・規律委員会」とフェアプレーを前に持ってきました。そこで、JFAが提唱するリスペクトプログラムに呼応しています。

高橋 中には、握手することがフェアプレーだと思っている人がいたり、「いつ握手をすればいいのか？」と尋ねる人もいますが、握手というのは、自然なものではないんです。

柴崎 そうですね（苦笑）。そういうことも含めて、サッカーは素晴らしいスポーツだと思ってもらいたいというのが、大きな願いです。各大会には、フェアプレーのお知らせを入れてもらっていますし、試合会場ではできるだけアナウンスしてもらっています。我々だけでなく、レッズさんやアルディージャさんでも取り組んでもらい、「埼玉のサッカーは素晴らしいね」と言ってもらいたいのです。そして、柱谷さんからもお話がありましたが、「埼玉のチームは勝つだけでなく、フェアプレーだよ」と言ってもらえるよう、努力していきたいと思っています。

柱谷 フェアプレーで勝つこそ価値があると思うのです。

岡本 クラブとしても、向上していきたいですね。

木村 残念ながら、高校生だとまだ何が警告の対象になるのかが、わかっていません。相手のチャンスをファールで阻止しているの

に「なんで警告なの？」ですからね（苦笑）。どうも、（相手に）強くガチャンと行くことが退場だという理解のようなのです。「転んでいなければいいじゃないか」とか、ルールの理解が浅いんですよ。

柴崎 そこで指導者が「ダメだ」と言わなければいけません。そして、「なぜか」と説明してあげなければいけません。

柱谷 相手をケガさせるプレーと卑怯なプレーは反則だという説明はどうでしょうか。サッカーは紳士のスポーツなのだから、とえば理解してもらえそうですが。

ただ、Jリーグは欧州に比べ判定が厳しいように思います。だから、日本人選手は国際試合になるとファールをもらいにいっているように見えてしまいます。

高橋 耐える力の違いだと思います。確かに、レフェリングで変わりますよね。

今、日本は「戦わせよう」としているのですが、選手は倒れてフリーキックをもらったほうがいいと思っています。そのままシュートを打って、ゴールを決めたほうがいいと思うのですが（苦笑）。

柴崎 ちなみにですが、昨年、「フェアプレーだな」と思ったシーンとかあれば教えていただけますか。また、類似した取り組みとかあれば、これも教えてください。

岡本 塚本選手（泰史）に対しての皆さんからの声援ですね。アルディージャのサポーターだけでなく、他のチームの選手、関係者の皆さんにも「塚本のために」と尊重してもらったことに関しては、感謝しています。

柱谷 浦和レッズは、「SPORTS FOR PEACE」という活動を国連の関連機関である国連の友アジアパシフィックと共に行っています。闘いながらも、ルールや相手を尊重するスポーツマンシップは、心を豊かにし、たくさんの幸せをもたらす、ということを開発していくものです。選手たちも国連のスタッフの皆さんからプレゼンをしてもらい、何ができるのかを考えて取り組んでいます。

柴崎 さて、充実した時間を過ごさせてもらいました。最後に、レッズ、アルディージャを含めて、具体的な提案をして終わりにしたいと思います。いかがですか。

柱谷 さいたまダービーが2回ありますから、そのときにはSFAの取り組みを紹介させていただきます。

岡本 あと「さいたまシティカップ」もありますね。画面を使って、理解を深めてもらいましょう。

柴崎 ダービーだけでなく、全てのホームゲームでお願いできれば最高です。とにかく有意義でした。これで、各種会議などで「レッズ、アルディージャとともに埼玉で素晴らしいサッカーをしましょう」と言うことができます。ありがとうございました。

高橋 日本には昔から「礼に始まり、礼に終わる」という言葉がありますが、握手という形だけでなく心から行動できるようになるといいですね。今後とも、レッズ、アルディージャからもご指導をいただきたいと思っています。よろしくお願ひします。ありがとうございました。



柴崎康之氏



木村 滋氏



高橋 明氏

平成23年度予算編成の方針

財務委員長 宮田典男

平成23年度の予算を編成する時期に
来た。

今年度の予算規模は3億4350万円！
規模が大きく見えるかもしれない。

しかし、協会が自主的に決定して事業を遂行できる財源は、チーム登録費・選手登録費・審判登録費と日本協会補助金のうち登録費の25%の基本還付金他の収入を合計して7500万円のみである（以下、固有財源という）。

残りの収入の2億6700万円は、日本協会への登録費1億3000万円をはじめ、参加料などの事業に参加する受益者負担等7100万円、PHQ事業・県体協等からの補助金5700万円、入場料収入等の収益金1300万円などで、その用途が特定事業の財源となる収入なので、自由度は一切ない。

23年度から日本協会の基本還付金とPHQ事業等の補助金が、登録費の総額45%の範囲で「公益目的事業活動支援金」の名目で一括交付されるシステムに変更される。しかし、この支援金（総額3465万円）の30%は既存のPHQに関連する事業に、残りの40%が公益目的の事業に使用することを前提条件付の補助金となった。これらの前提条件に合致する内容案を申請したが、既に実施されている事業が大半であり、その中でキッズプログラムへの配分18%（547万円）が大きいという特色がある。

今後は、公益目的事業支援金を考慮しながら、固有財源（7500万円）の配分を行うことになる。22年度予算で例えていえば、技術や広報等の専門委員会の事業費1700万円、連盟の大会助成費2800万円、法人管理費4700万円を如何にして圧縮して配分するか、求められている。

かつて、日本代表の試合が埼玉スタジアムで多く開催されたこと



とによる収益増があり、これを固有財源と同様に捉えた運営がなされた経緯がある。国際試合開催の収益は確実性のないものなのだが、この収益増が現状の固定費用の膨張化に繋がった。

そこで、平成21年度から3カ年計画で、各連盟へ種別ごとの登録費の50%（大規模連盟）～100%（小規模連盟）に大会助成金が収まるように段階的に助成金を縮減してきたが、23年度はその最終年度にあたり、該当する連盟には厳しい姿勢で臨むことになるだろう。ご理解をいただきたい。

公益法人制度改革について

総務委員長 松本利春

新しい公益法人制度が平成20年12月1日に施行されたことにより、財団法人埼玉県サッカー協会は平成25年11月30日までに「公益財団法人」か「一般財団法人」のいずれかに移行しなければなりません。

（公益財団と一般財団の比較）

○「公益財団法人 埼玉県サッカー協会」：行政庁の監督下、税制上の優遇を享受、「公益」の看板を掲げることが出来るものの、公益事業比率を50%以上に維持する等の事業制限がある。作成備え置きする書類の事務負担増大。

○「一般財団法人 埼玉県サッカー協会」：自由な法人運営が可能だが税制上の優遇措置無し。「一般」法人は自由に設立出来るため、法人格の位置付けは高くない。事務負担が小さい。

当協会では、平成22年10月に実施した監査法人の調査結果をもとに理事・評議員による検討会を平成23年1月15日に行い、評議員会を経て、理事会にて決定します。方向性決定後、認可申請書作成を開始し、平成24年4月より新法人として事業を開始する予定です。



レジスタFCが初優勝 ～第4回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会～

12月23日、第4回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会（後援 埼玉県教育委員会／NHKさいたま放送局／テレ玉／FM NACK5／埼玉新聞社、協賛 埼玉県信用金庫／プーマ／アストロ、協力 JAグループさいたま、特別協力 浦和レッドダイヤモンズ／大宮アルディージャ）の準決勝と決勝が、埼玉スタジアムで開催されました。結果は、3年連続決勝進出を果たしたレジスタFCが、初めて優勝カップを掲げることとなりました。おめでとうございます。

ベスト4に残ったチームはそれぞれ素晴らしいプレーを見せてくれました。3連覇を目指した大宮アルディージャジュニア、そのアルディージャジュニアを破った戸塚FCジュニア、そして上位の常連となっている新座片山FC少年団と、どのチームも遜色のないゲームを見せてくれました。皆さん、お疲れ様でした。

合わせて、NHKさいたま放送局による親子サッカー教室、JFAキッズエリートマッチU-10が行われるなど、スタジアム全体がサッカー一色で染まりました。準決勝と決勝の間には、



優勝したレジスタFCの選手達

JAグループさいたまご協力の野菜の即売会、豚汁のサービスもあり、一般の皆さんにも楽しんでいただきました。

また、決勝はNHKさいたま放送局（FM85.1、秩父83.5）により生放送され、12月29日にはテレ玉において「PUMA SPECIAL MATCH」として録画放送されました。

ご協力、ご協賛いただいた関係各所の皆様に、改めて感謝を申し上げます。

日本、残念

～2022年FIFAワールドカップTMはカタールに決定

12月2日、スイス・チューリヒにあるFIFA本部において、2018年と22年のワールドカップ開催地が決定しました。22年には、初の単独開催を目指した日本も立候補したが、カタールに決定しました。カタールの開催は、2002年に続いてアジアでは2度目。西アジアとしては初めて。18年はロシアに決定となり、東ヨーロッパを含めて初の開催となります。

招致活動については、多くの県民の皆さんのご理解を賜りながら進めてきました。ありがとうございました。結果は残念なものとなりましたが、埼玉においてサッカーが高い興味・関心を持っていることを改めて理解できたことは、大きな収穫だと思います。今後もサッカーの普及、発展に寄与しながら、来る次のチャンスにも、「埼玉でワールドカップを」と言える体制作りを行っていきたくと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

大会記録 ● 県内大会

1種・社会人

埼玉県社会人リーグ1部

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	坂戸シティー	41	13	2	1	47	13	+34
2	FC西武台	34	11	1	4	54	25	+29
3	パイオニア川越	31	10	1	5	35	26	+9
4	飯能セボジータス	25	7	4	5	42	29	+12
5	武南クラブ	19	6	1	9	28	53	-25
6	浦和レッズアマ	14	4	2	10	23	31	-8
7	アヴェントゥーラ川口	14	9	1	5	42	31	+10
8	与野八王子	10	3	1	12	22	52	-33
9	与野蹴魂会	6	1	3	12	17	47	-30

県1部2部入れ替え戦

12月19日 埼玉スタジアム第4グラウンド

浦和レッズアマ(県リーグ6位) 5-0 川越全酪SC(県リーグ2部A)

※浦和レッズアマが1部残留を決めた

大学

埼玉県大学リーグ1部

●最終結果

順位	チーム名	勝点	得点	失点	差
1	城西大学	37	42	15	+27
2	平成国際大学	32	37	10	+27
3	東京国際大学	31	37	13	+24
4	埼玉大学	18	23	32	-9
5	獨協大学	15	25	30	-5
6	埼玉工業大学	14	29	28	+1
7	文教大学	11	19	25	-6
8	埼玉県立大学	4	10	69	-59

2種

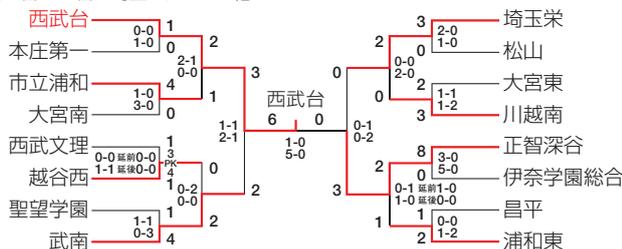
U-16 埼玉県リーグ<TOPリーグ>

●最終結果

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	浦和レッズ	25	8	1	1	33	7	+26
2	正智深谷	22	7	1	2	39	14	+25
3	西武台	20	6	2	2	34	17	+17
4	大宮アルディージャ	20	6	2	2	28	12	+16
5	埼玉栄	19	5	4	1	25	20	+5
6	川越南	14	4	2	4	16	23	-7
7	成徳深谷	13	4	1	5	17	19	-2
8	浦和東	8	2	2	6	10	33	-23
9	大宮東	7	2	1	7	11	21	-10
10	武蔵越生	7	2	1	7	7	34	-27
11	花咲徳栄	1	0	1	9	7	27	-20

平成22年度全国高等学校サッカー選手権大会 兼 埼玉県高校選手権2次予選 決勝トーナメント

11月6日~21日 埼玉スタジアム他



※西武台高校は2年連続3度目の優勝



決勝 西武台 vs 正智深谷

●総評 平成22年度第89回全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会 (財)埼玉県サッカー協会2種技術委員 武田直樹 (栄北高校)

「平成22年度第89回全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会」が、埼玉スタジアム2002ほか各会場にて、去る10月9日から11月21日まで行われた。

今大会は、8月下旬の一次予選を勝ち抜いた16チームと、5月から6月にかけて行われた高校総体県予選ベスト8の記録を残したチームとを合わせた全24チームによる。試合は4チーム(6ブロック)によるリーグ戦で、各ブロック上位2チーム及び3位における上位4チームを併せた16チームのトーナメント方式で行われた。コンディション面で、リーグ戦の1節・2節は雨の影響で土のグラウンドが水溜まりや泥沼化し、選手に苦戦を強いたであろうが、3節・トーナメント戦は天候が大きく崩れることもなく、順調に試合が進んでいった。

結果として、試合前の大方の予想通り、西武台高校の2年連続(3回目)の優勝で幕を閉じた。しかし、決勝戦こそ大差(6-0)で勝利した一方で、トーナメント戦では4試合中3試合が1点差でのものだった。優勝候補として対戦相手にマークされ、当然ながらかなり研究されている中で、守屋監督・チームスタッフのチーム作りやモチベーション・コンディションコントロールなどが生きたのである。それを退けての優勝はさすがである。特に準決勝の武南戦では2度に渡って追いつかれるも3点目を奪い、勝負強かった。また決勝戦においては、前半38分の得点を挙げるまでは正智深谷に主導権を握られ、決定的なピンチの場面が何度か見られたが、もしその時まで点数を決められていたら、別の結果を呼んだのかもしれない。

今大会を振り返ると、優勝した西武台高校は、他のチームと比較して、決定力のある能力の高いFWの存在、チーム全体の守備力、一試合を通してのスタミナ・精神的タフさと集中力で勝っていたように思う。特に守備力ではボールを奪われてからの切り替えが早く、前線から積極的にボールを奪いに行く意識と姿勢が見られた。スタミナや精神力については、高校総体などにおいて、さまざまな強豪チームと厳しい戦いを積み重ねた経験が活かされているように感じた。

武南・正智深谷は数的不利な状況においても、個人で突破する場面やチャンスメイクする場面が見られ、簡単にボールを失わず、体の使い方やボールの置き所など個人技術の高い選手が多く見られた。特に正智深谷には2年生が多く、今後はスピード(プレー・判断)や決定力といった点に磨きをかけて欲しい。新チームは大変魅力的に思われる。

他のチームは、エースに求められるスピード・高い技術・チャンスメイクができるという選手はいたものの、上位に行くためにはその次の選手が多く出てくる必要性が感じられる。各年代のリーグ戦が活発化し、そこでの緊張感のあるゲームを通して、選手が自身に求められる課題に気づき、トレーニングを積み、克服してほしい。

全体的には、攻撃に関して、個人の能力で突破・チャンスメイクができてしまうので、グループまたはチームで“崩す”という点での攻めでは少なかったように見られる。逆に、守備に関しては、まず、個の能力の高い選手に対して個人・グループと対応できるようにトレーニングと試合を重ねる必要があるだろう。またDFだけでなく前線から積極的にボールを奪うという視点に立ち、選手個々が“守備”というものを考えてほしい。

最後に、西武台の選手には、高校総体での試合後に感じた課題や、自信を本大会におけるグラウンドで表現してほしい。“絆”という最大の精神をもって、国立競技場での活躍を期待したい。

3種

埼玉県ユース(U-15)サッカーリーグ

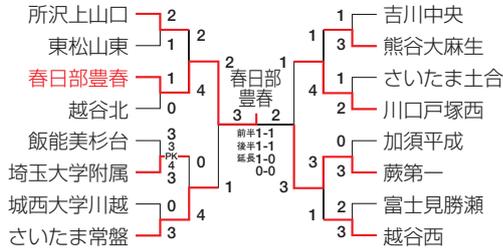
●最終結果

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	坂戸カマイJr	22	7	1	1	27	7	+20
2	KASUKABE	19	6	1	2	26	17	+9
3	三郷Jr	17	5	2	2	17	8	+9
4	坂戸ディプロマツ	17	5	2	2	19	12	+7
5	クマガヤSC	15	4	3	2	16	6	+10
6	武南Jr	13	4	1	4	18	15	+3
7	大宮FC	12	4	0	5	16	21	-5
8	FC深谷	10	3	1	5	18	22	-4
9	狭山Jr	4	1	1	7	16	27	-11
10	新座二中	0	0	0	9	7	45	-38

中学

平成22年度新人体育大会 兼 第23回県民総合体育大会 兼 第20回テレビ埼玉旗争奪サッカー大会

11月5日～21日 埼玉スタジアム2002他



※春日部豊春中が優勝

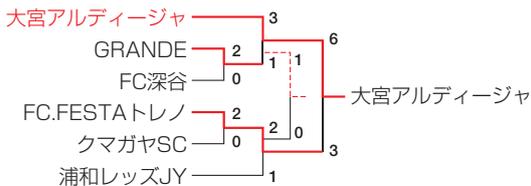


決勝 春日部豊春 vs 蕨第一

埼玉新聞社旗争奪第19回埼玉県ユース(U-15)サッカー選手権大会 兼 高円宮杯第22回全日本ユース(U-15)サッカー選手権埼玉県予選大会

8月28日～10月17日 埼玉スタジアム第2他

●順位決定トーナメント



●第5代表決定戦

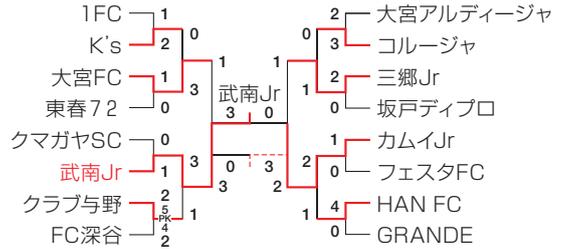


※優勝は大宮アルディージャ。関東リーグのアルディージャ、レッズと第5代表までの7チームが関東大会に出場する。

クラブ

第20回埼玉県クラブユース(U-15)サッカー選手権大会

10月11日～11月21日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他

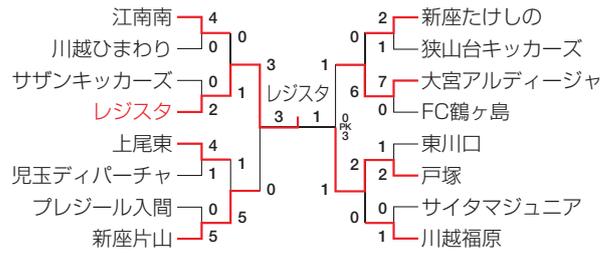


※武南Jrは初優勝

第4回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会

12月11日～21日 埼玉スタジアム他

※レジスタFCは初優勝



決勝 レジスタ vs 戸塚



準決勝
レジスタ vs 新座片山

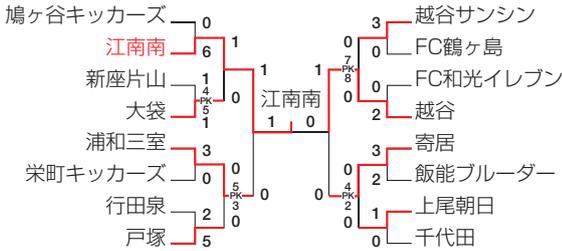


準決勝
戸塚 vs 大宮アルディージャ

4種

第39回埼玉県サッカー少年団中央大会

11月7日～21日 埼玉スタジアム第2グラウンド他



※優勝した江西南南は4連覇

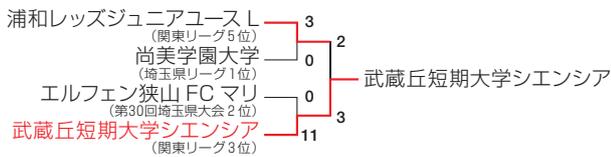


決勝 江西南南 vs 越谷

女子

第3回会長杯 埼玉県女子サッカー大会 兼 第32回埼玉県女子サッカー選手権大会

12月19日～23日 埼玉スタジアム他



※武蔵丘短期大学シエンシアが2度目の優勝



決勝 武蔵丘短期大学シエンシア vs 浦和レッズジュニアユースL

埼玉県女子1部リーグ

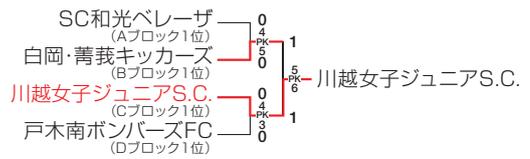
●最終結果

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	尚美学園大学	42	14	0	0	77	8	+69
2	大東文化大学	30	9	3	2	43	13	+30
3	上福岡女子SC	22	7	1	6	28	30	-2
4	エルフェン狭山マリ	19	6	1	7	35	22	+13
5	尚美学園大学ピックス	18	6	0	8	28	31	-3
6	大宮FCエンジェルズ	17	5	2	7	19	24	-5
7	FC.JAM-G	13	4	1	9	22	50	-28
8	戸木南ボンパースFC	2	0	2	12	8	82	-74

第22回埼玉県少女サッカー大会県中央大会 兼 第23回関東少女サッカー大会埼玉県代表決定大会

10月23日、24日 熊谷スポーツ文化公園西多目的広場

●決勝トーナメント



※優勝した川越女子ジュニアと準優勝した菁莪キッカーズが関東大会へ出場

埼玉県女子U-15 1部リーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	浦和レッズJr	31	10	1	0	69	2	+67
2	大宮U-15	24	7	3	1	29	5	+24
3	FC熊谷女子	21	6	3	2	31	12	+19
4	河内ジュベニール	20	6	2	3	28	20	+8
5	エルフェンマリ	20	6	2	3	24	17	+7
6	白岡SCL	16	3	7	1	20	11	+9
7	戸木南ボンパース	15	3	6	2	22	17	+5
8	SRフィリアFC	12	3	3	5	18	25	-7
9	越谷レディースF	8	2	2	7	9	27	-18
10	大宮U-14	7	1	4	6	8	22	-14
11	パシールFC	6	1	3	7	17	45	-28
12	FC JAM-G	0	0	0	11	3	75	-72

2010年度埼玉県U-10少女サッカー育成・交流大会

12月18日、19日 リコー東松山グラウンド

順位	グループ1	勝点	得失差	順位	グループ2	勝点	得失差
1	戸塚FCガールズ	10	+14	1	西部地区混成チーム	10	+14
2	TSガールズ	9	+4	2	寄居女子SC	10	+7
3	東大宮エンジェルズ	7	+14	3	SC和光ベレーザ	6	+6
4	FC熊谷女子	1	-16	4	吉川キッカーズ・桜サッカー連合	3	-2
4	熊谷リリーズ	1	-16	5	籠原女子サッカー	0	-25

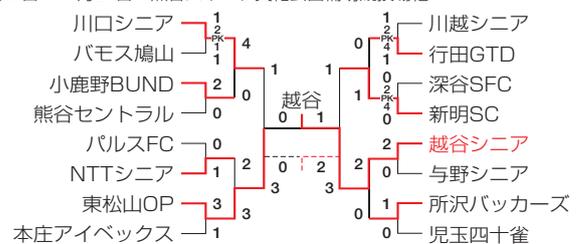
順位	グループ3	勝点	得失差	順位	グループ4	勝点	得失差
1	毛呂山レディース	9	+4	1	戸木南ボンパース	12	+19
2	菁莪キッカーズ	7	+7	2	浦和ラッキーズFC	7	+4
3	北部地区混成チーム	6	-5	3	川越女子Jr.S.C.	7	+1
4	日進SSレディース	4	-5	4	吉見エスカーラFC	3	-11
5	FCなめがわ	3	-1	5	SEフィリアFC	0	-13

シニア

2010年埼玉県総合体育大会(シニアの部) 兼

日本スポーツマスターズ(0-40)サッカー競技埼玉県予選

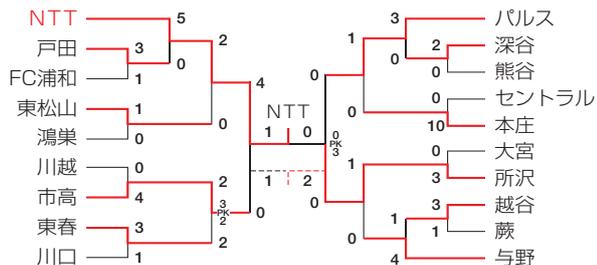
9月5日～11月21日 熊谷スポーツ文化公園補助競技場他



決勝 越谷シニア vs 東松山OP

第8回埼玉県シニアサッカー選手権大会(0-50) 兼 第10回全国シニア関東予選埼玉県大会

8月29日~11月21日 熊谷文化スポーツ公園補助競技場他



決勝 NTT vs 所沢

シニア40南部リーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝点	得失差
1	新明サッカークラブ	32	+23
2	パルスフットボールクラブ	31	+21
3	越谷シニアサッカークラブ	31	+17
4	FC浦和シニア	31	+13
5	NTTシニア	26	+10
6	所沢バッカース	25	+7
7	与野シニアフットボールクラブ	20	+5
8	川口シニアフットボールクラブ	19	+5
9	八潮シニア	19	-10
10	川越シニアサッカークラブ	16	-8
11	鴻巣UNITED	15	-14
12	蕨シニアサッカークラブ	14	-6
13	東春'72シニア	11	-7
14	大宮シニアフットボールクラブ	4	-24
15	戸田シニアサッカークラブ	4	-32

シニア40北部リーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝点	得失差
1	VAMOS鳩山	38	+33
2	東松山オールパワーズ	33	+17
3	東松山ベレーニア	32	+18
4	秩父四十雀サッカークラブ	32	+17
5	児玉四十雀サッカークラブ	31	+19
6	本庄アイベックス	30	+26
7	熊谷ブーメラン	26	+6
8	行田グレイテッド	23	+8
9	小鹿野パンビノナイト	21	-2
10	深谷SFCフェニックス	20	-6
11	セントラル蹴球団	15	-6
12	ジョイファーストめぬま	11	-16
13	寄居四十雀サッカークラブ	9	-20
14	小川スパースターナイト	8	-27
15	吉見エスカーラFC	7	-29
16	クマガヤSC	4	-38

シニア50サッカーリーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝点	得失差
1	NTTシニア50	49	+32
2	与野シニアFC	41	+14
3	パルスFC	37	+27
4	市高グラウンドシニア	37	+19
5	東松山ベレーニア	36	+10
6	深谷SFCフェニックス	33	+10
7	川口シニアFC	32	+4
8	所沢バッカース	29	+8
9	川越シニアFC	28	+10
10	鴻巣ユナイテッド	24	-6

順位	チーム名	勝点	得失差
11	本庄アイベックス	23	+15
12	東春'72シニア	19	-1
13	熊谷ブーメラン	18	-6
14	越谷シニア	18	-7
15	FC浦和シニア	15	-9
16	大宮シニアFC	14	-16
17	セントラル	10	-39
18	蕨シニアFC	7	-23
19	戸田シニアSC	4	-42

シニア60リーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	FFC	30	10	0	2	31	7	+24
2	パルス	21	7	0	5	20	16	+4
3	Gファイター	10	3	1	8	7	21	-14
3	ボラリス	10	3	1	8	7	21	-14

ロイヤルリーグ

●最終結果

さくら 9勝1分2敗 けやき 2勝1分9敗

65リーグ

●最終結果

さくら 9勝1分2敗 けやき 2勝1分9敗

フットサル

埼玉県フットサルリーグ1部

●最終結果

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	IMPERIO	28	9	1	0	31	10	+21
2	烏天狗	25	8	1	1	66	32	+34
3	THOMAS FC	19	6	1	3	34	23	+11
4	Mf	17	5	2	3	32	33	-1
5	マカプ〜	16	5	1	4	42	36	+6
6	坂戸龍門	15	4	3	3	37	29	+8
7	FFC Estrela	9	2	3	5	21	31	-10
8	ロクFC	8	2	2	6	27	40	-13
9	pal'u:wo	6	1	3	6	32	46	-14
10	F&F	6	1	3	6	26	44	-18
11	FC川越	6	2	0	8	37	61	-24

第6回埼玉県女子フットサルリーグ

●12月11日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	武蔵丘短大	24	8	0	0	123	12	+111
2	Aventura	21	7	0	0	79	3	+76
3	武蔵浦和FC	18	6	0	2	38	30	+8
4	dolce da donna	15	5	0	2	50	17	+33
5	CHU-BAR	12	4	0	4	18	32	-14
6	り〜ずなぶる。	12	4	0	4	16	34	-18
7	FUKAYA	9	3	0	5	16	49	-33
8	FILHO Ladies	7	2	1	5	6	56	-50
9	I.F.C/ems	6	2	0	6	21	41	-20
10	ロクFC Grama	2	0	2	6	1	54	-53
11	chechio	1	0	1	7	1	41	-40

大会記録●県外大会

1種・社会人

第90回天皇杯全日本サッカー選手権大会

9月3日~1月1日 国立競技場他

1回戦	東京国際大学	3-1	栃木ウーヴァFC
2回戦	浦和レッズ	7-0	東京国際大学
	大宮アルディージャ	4-1	カマタマーレ讃岐
3回戦	浦和レッズ	2-0	ヴォルティス徳島
	大宮アルディージャ	3-0	大分トリニータ
4回戦	浦和レッズ	1-0	ジュビロ磐田
	大宮アルディージャ	2-2 (3PK4)	アビスパ福岡
準々決勝	浦和レッズ	1-2	ガンバ大阪

※優勝は鹿島アントラーズ



天皇杯全日本サッカー選手権大会 1回戦 東京国際大学 vs 栃木ウーヴァ FC



天皇杯全日本サッカー選手権大会 2回戦 浦和レッズ vs 東京国際大学



関東自治体職員サッカー選手権大会 決勝 さいたま市役所 vs 東京消防庁

第34回全国地域リーグ決勝大会 1次ラウンド

- 11月21日～23日 高知県春野総合運動公園陸上競技場他
- さいたまSC 1-4 AC長野パルセイロ
 - さいたまSC 2-3 カマタマーレ讃岐
 - さいたまSC 0-4 福島ユナイテッド

※さいたまSCは1次ラウンドで敗退。決勝ラウンドにおいて、カマタマーレ讃岐が優勝、AC長野パルセイロが準優勝となり、JFL 昇格を決めた

第17回全国クラブチームサッカー選手権大会

- 10月30日～ 新発田市五十公野公園陸上競技場他
- 1回戦 狭山トウルズSC 4-2 FCシバタ(開催市/新発田市)
 - 2回戦 狭山トウルズSC 1-2 FCバレイン下関

※優勝はアンソネット岩手八幡平

第44回関東社会人サッカー大会

- 11月6日～14日 西が丘サッカー場他
- 1回戦 東京23FC 4-2 FC西武台
 - S.C.相模原 3-2 パイオニア川越
 - 坂戸シティー 1-1 横浜猛蹴
 - (3PK5)
 - 宇都宮FC 2-3 飯能セボジータス
 - 2回戦 飯能セボジータス 1-6 青梅FC

※優勝は横浜猛蹴

埼玉県・栃木県交流試合

- 12月12日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
- 埼玉県リーグ2部選抜 1-0 栃木県リーグ2部選抜
 - 埼玉県リーグ1部選抜 4-7 栃木県リーグ1部選抜

1種・自治体

第38回関東自治体職員サッカー選手権大会

- 10月23日～26日 NACK 5 スタジアム大宮他
- 1回戦 上尾市役所 0-9 日上市役所
 - 2回戦 さいたま市役所 6-1 市川市役所
 - 準決勝 さいたま市役所 2-0 日上市役所
 - 決勝 さいたま市役所 0-2 東京消防庁

※さいたま市役所は準優勝

1種・大学

JR東日本カップ関東大学サッカーリーグ戦

●2部リーグ 全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差	順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	専修	48	16	0	6	+36	7	朝鮮	28	8	4	10	-8
2	青山学院	40	12	4	6	+14	8	関東学院	25	6	7	9	-5
3	東洋	39	10	9	3	+5	9	國學院	22	5	7	10	-9
4	東京学芸	36	9	9	4	+21	10	桐蔭横浜	22	6	4	12	-25
5	東海	34	10	4	8	+7	11	尚美学園	21	4	9	9	-17
6	日本体育	29	8	5	9	+2	12	東京農業	18	4	6	12	-21

※尚美学園大学は埼玉県リーグに降格することになった。

平成22年度第43回関東大学サッカー大会

- 第1節 城西大学 1-3 立正大学
- 第2節 城西大学 2-1 横浜国立大学
- 第3節 城西大学 4-0 明海大学
- 昇格決定戦 城西大学 3-0 産業能率大学

※城西大学は4年ぶり2度目の関東大学2部に昇格することになった。

2種

高円宮杯第21回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会

- 9月4日～10月11日 埼玉スタジアム他
- 1回戦 浦和レッズ 2-4 コンサドーレ札幌

※優勝はサンフレッチェ広島ユース

Jユースカップ 2010 第18回Jリーグユース選手権大会

12月5日～12月26日 長居スタジアム他

●予選リーグ Bグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	東京ヴェルディ	21	7	0	1	23	5	+18
2	大宮アルディージャ	17	5	2	1	11	3	+8
3	横浜FC	11	3	2	3	10	11	-1
4	浦和レッズ	7	2	1	5	5	11	-6
5	ザスパ草津	1	0	1	7	3	22	-19

●決勝トーナメント

- 2回戦 大宮アルディージャ 0-1 柏レイソル

※優勝は横浜F・マリノスユース

第14回KCYリーグ 兼 Jユースカップ予選

●2次リーグ グループC

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	FCトリプレッタ	9	3	0	0	15	3	+12
2	ACフツロ	6	2	0	1	6	6	±0
3	大宮ソシオ	1	0	1	2	4	8	-4
4	FC Balzo	1	0	1	2	3	11	-8

●決勝トーナメント

- 10月24日～11月3日 保土ヶ谷公園他
- 1回戦 ACフツロ 1-6 三菱養和SC

※優勝した三菱養和SCがJユースカップへ出場

3種

高円宮杯第22回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会

12月19日～29日 国立競技場他

1回戦	浦和レッズ	5-1	名古屋FC
	大宮アルディージャ	5-0	クレフィオ山口FC
2回戦	浦和レッズ	1-0	神戸FC
	大宮アルディージャ	0-1	ヴィッセル神戸
準々決勝	浦和レッズ	1-2	ヴィッセル神戸

※優勝は名古屋グランパスU-15

女子

第32回全日本女子サッカー選手権大会

12月5日～1月1日 国立競技場他

1回戦	武蔵丘短大	2-4	FC高槻
2回戦	ASエルフェン狭山	1-1	藤枝順心高校
		(2PK4)	
3回戦	浦和レッズレディース	6-0	神村学園高校
準々決勝	浦和レッズレディース	1-0	ジェフユナイテッド市原・千葉L
準決勝	浦和レッズレディース	3-1	アルビレックス新潟L
決勝	浦和レッズレディース	1-1	INAC神戸
		(2PK3)	

※INAC神戸は初優勝

ブレナスなでしこリーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	ベレーザ	49	16	1	1	+34
2	浦和	43	14	1	3	+34
3	マリヤ	34	11	1	6	+15
4	I神戸	34	11	1	6	+11
5	湯郷ベル	29	9	2	7	+2

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
6	新潟L	28	9	1	8	+12
7	ジェフL	25	8	1	9	-6
8	福岡AN	8	2	2	14	-26
9	AS狭山	7	2	1	15	-47
10	伊賀FC	6	1	3	14	-29

2010 なでしこリーグ表彰(関係分のみ)

- フェアプレー賞 浦和レッドダイヤモンズレディース(3回目)
- 新人賞 藤田のぞみ(浦和)
- 敢闘賞 山郷のぞみ(浦和)
- ベストイレブン GK 山郷のぞみ(浦和)(10回目)
DF 矢野 喬子(浦和)(4回目)
MF 庭田 亜樹子(浦和)(2回目)
MF 柳田 美幸(浦和)(3回目)
FW 荒川 恵理子(浦和)(3回目)

●特別表彰

200試合出場選手 柳田 美幸(浦和) 2010.4.25達成

第22回全国レディースサッカー大会

11月21日～23日 磐田スポーツ交流の里ゆめりあサッカーグラウンド他

●1次ラウンド・グループD

順位	チーム名	勝点	得点	失点	得失差
1	FC BOSSA	6	2	2	±0
2	ディアプロッサ高田FC	5	3	1	+2
3	FC.BB	2	2	3	-1
4	スポーツの森・大津マリノス	2	1	2	-1

●3位グループトーナメント

FC.BB 0-2 LFCジャーニー盛岡

3位決定戦 FC.BB 1-0 長野フレンズ

※優勝は愛媛FCレディース

全日本大学女子サッカー選手権大会

11月26日～1月5日 国立競技場他

●グループA

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	早稲田大	7	2	1	0	+5
2	吉備国際大	6	2	0	1	+4
3	尚美学園大	4	1	1	1	+4
4	静岡産業大	0	0	0	3	-13

●グループD

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	武蔵丘短大	9	3	0	0	+10
2	日本体育大	6	2	0	1	+11
3	愛媛女子短大	3	1	0	2	-3
4	姫路獨協大	0	0	0	3	-18

●決勝トーナメント

準決勝 武蔵丘短期大学 3-1 筑波大学

決勝 武蔵丘短期大学 1-4 早稲田大学

※優勝は早稲田大学

第32回関東女子サッカー選手権大会 兼

第32回全日本女子サッカー選手権大会関東地区予選

10月2日～10日 駒沢オリンピック公園他

1回戦	尚美学園大学	2-1	FC PAF
	浦和レッズJrYレディース	5-0	東京情報大学JUNIORS
	武蔵丘短期大学	2-0	スフィード世田谷
2回戦	尚美学園大学	0-2	日テレ・メニーナ
	浦和レッズJrYレディース	0-3	関東学園大学
	武蔵丘短期大学	2-2	日本航空高等学校
		(3PK0)	
準決勝	武蔵丘短期大学	1-1	関東学園大学
		(7PK6)	
決勝	武蔵丘短期大学	4-4	日テレ・メニーナ
		(5PK3)	

※武蔵丘短期大学シエンシアが関東第1代表として、全国大会に出場

2010年度第16回関東女子サッカーリーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	早稲田大	37	12	1	1	+35
2	日テレ・メニーナ	30	9	3	2	+18
3	武蔵丘短大	23	7	2	5	+18
4	関東学園大	21	6	3	5	+8

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
5	浦和レッズJrY	19	5	4	5	±0
6	FC PAF	15	5	0	9	-18
7	神奈川大	14	4	2	8	-14
8	東京女子体育大	1	0	1	13	-47

第24回関東大学女子サッカーリーグ戦

●最終結果

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	早稲田大	21	7	0	0	+27
2	武蔵丘短大	14	4	2	1	+9
3	神奈川大	11	3	2	2	+1
4	筑波大	10	3	1	3	+5

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
5	日本体育大	9	3	0	4	-1
6	尚美学園大	9	2	3	2	-1
7	関東学園大	6	2	0	5	-5
8	東京女子体育大	0	0	0	7	-35

第23回関東少女サッカー大会

11月27日、28日 平塚市馬入ふれあい公園サッカー場

●予選リーグ

順位	Aグループ	勝点	得失差
1	松戸FC	4	+3
2	横浜ウインズ	4	+1
3	菁莪キッカーズ	0	-4

順位	Cグループ	勝点	得失差
1	吉井Rスパローズ	4	+1
2	川崎ウインズ	2	±0
3	川越女子Jr.SC	1	-1

●順位決定トーナメント(9～12位)

菁莪キッカーズ 6-0 河内ジュベニール

川越女子ジュニアSC 1-0 バディFC

9位決定戦 菁莪キッカーズ 2-1 川越女子ジュニアSC

※優勝は松戸FC

シニア

ねんりんピック石川2010

10月9日～11日 石川県西部緑地公園陸上競技場他

●Hブロック

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	愛知選抜	7	2	1	0	+4
2	さいたま市選抜	6	2	0	1	+4
3	西条88FC	4	1	1	1	-5
4	大阪市選抜	0	0	0	3	-3

●Kブロック

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	大阪府代表	9	3	0	0	+6
2	埼玉シニア60	6	2	0	1	+5
3	フロッター堺	1	0	1	2	-4
4	山口60雀SC	1	0	1	2	-7

第23回全国スポーツ・レクリエーション祭

10月17日～19日 富山県総合運動公園 多目的広場・ファミリー広場他

●グループE

順位	チーム名	勝点	得点	失点	得失差
1	埼玉シニアFC	12	10	3	+7
2	滋賀県選抜	7	9	4	+5
3	越前水仙	5	4	6	-2
4	沖縄県シニアFC	4	2	4	-2
5	香川シニア50	4	4	7	-3
6	県南シニアSC(福島県)	1	3	8	-5

※埼玉シニア60はグループ優勝

フットサル

関東フットサルリーグ1部

●最終結果

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	カフリング東久留米	29	9	2	3	58	45	+13
2	フウガ東京	26	7	5	2	53	34	+19
3	コロナ FC/権田	26	8	2	4	64	62	+2
4	ゾット 早稲田	24	6	6	2	59	46	+13
5	ファイルフォックス 府中	18	5	3	6	39	43	-4
6	アルティスタ 埼玉	12	3	3	8	27	39	-12
7	ブラックショーツ FC	11	3	2	9	44	62	-18
8	マルバ fc	9	2	3	9	32	45	-13

関東フットサルリーグ2部

●最終結果

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	柏イーグルス トーア 82	24	8	0	2	43	21	+22
2	バルドラル浦安セグンド	23	7	2	1	41	17	+24
3	フュンフシュビーラー山梨	20	6	2	2	40	30	+10
4	ノーボ メンテ	17	5	2	3	36	29	+7
5	フトゥーロ	17	5	2	3	33	31	+2
6	大洋薬品/バンフ東京	14	4	2	4	38	26	+12
7	三栄不動産FC宇都宮	13	4	1	5	22	32	-10
8	岩槻FC/ティーゼットケー	12	4	0	6	33	35	-2
9	ミリオネア横浜	11	3	2	5	36	37	-1
10	ACセニョール千葉	10	3	1	6	20	31	-11
11	ビーエフシーコーワ大泉	7	2	1	7	25	54	-29
12	ユーエフシーJS新横浜	4	1	1	8	14	38	-24

第16回全日本ユース(U-15)フットサル大会関東大会

11月6日、12月12日

1次ラウンド・グループB

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	三井千葉SC Jrユース	6	2	0	0	9	5	+4
2	FCカーニョ	3	1	0	1	6	7	-1
3	FC駒沢	0	0	0	2	5	8	-3

※優勝した三井千葉SC Jrユースは全国大会へ出場する

バーモントカップ第20回全日本少年フットサル大会

1月4日から6日 代々木体育館他

●Cグループ

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	江南南サッカー少年団	9	3	0	0	17	3	+14
2	山形FCジュニア	6	2	0	1	12	13	-1
3	F.C.アルマ大垣U-12	3	1	0	2	8	11	-3
4	福山ローザス・セレソン	0	0	0	3	6	16	-10

●決勝トーナメント

ラウンド16 江南南サッカー少年団 4-4 鹿島アントラーズジュニア (9PK10)

※優勝は東京ヴェルディ

第7回全日本女子フットサル選手権関東大会

9月25日、26日 神奈川県立体育センタースポーツアリーナ

●決勝トーナメント

1回戦 武蔵丘短期大学 2-4 FUNフットサルクラブLadies
3位決定戦 武蔵丘短期大学 2-1 Amaral/峰FC
※優勝はFUNフットサルクラブLadies。準優勝したバルドラル浦安ラスポニータス、3位の武蔵丘短期大学シエンシアが全国大会に出場

第7回全日本女子フットサル選手権大会

11月5日~7日 三重県営サンアリーナ

●1次ラウンド・グループB

順位	チーム名	勝点	得点	失点	得失差
1	武蔵丘短期大学シエンシア(関東代表)	7	16	3	+13
2	ビヴォックス・アスパラゴ(中国代表)	5	5	2	+3
3	オウンゴール(北信越代表)	2	4	11	-7
4	サムライフットサルレディース(東海代表)	1	1	10	-9

●決勝トーナメント

準決勝 武蔵丘短期大学 1-0 ファンフットサルクラブレディース(関東代表)
決勝 武蔵丘短期大学 3-3 バルドラル浦安ラスポニータス(関東代表) (5PK3)

※武蔵丘短期大学シエンシアは初優勝

第1回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会関東大会

11月6日、12月12日 小金井市総合体育館他

1回戦 埼玉女子U-15フットサル選抜チーム 11-5 ゴスバ草津レディース

準決勝 埼玉女子U-15フットサル選抜チーム 2-3 スギナミファンタジスタ

※優勝したジェフ市原千葉レディースU-15は全国大会に出場する

大会記録●トレセン・選抜

第21回関東選抜少年サッカー大会

12月4日、5日

●予選リーグ・4組

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	群馬選抜	9	3	0	0	+5
2	新潟TC	6	2	0	1	±0
3	埼玉U-12DX	1	0	1	2	-2
4	宇河TC	1	0	1	2	-3

●予選リーグ・6組

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	埼玉U-12SP	9	3	0	0	+9
2	茨城PE	6	2	0	1	±0
3	小田原選抜	3	1	0	2	-2
4	福島選抜	0	0	0	3	-7

●決勝リーグ・D組

順位	チーム名	埼玉U-12SP	神奈川TC	群馬選抜	勝点	得点	失点	得失差
1	埼玉U-12SP	*	○1-0	○2-1	6	3	1	+2
2	神奈川TC	●0-1	*	○1-0	3	1	1	±0
3	群馬選抜	●1-2	●0-1	*	0	1	3	-2

●トーナメント

1回戦 埼玉U-12SP 1-1 千葉ブルー (3PK0)

決勝 埼玉U-12SP 3-0 茨城PE

※埼玉U-12SPが優勝

2010年関東女子U-14トレセンリーグ

●最終結果・1グループ

順位	チーム名	埼玉県	東京都	長野県	山梨県	群馬県	勝点	得点	失点	得失差
1	埼玉県	*	3○0	4○1	0△0	6○0	10	13	1	+12
2	東京都	0●3	*	8○1	3○1	4○2	9	15	7	+8
3	長野県	1●4	1●8	*	1○0	1○0	6	4	12	-8
4	山梨県	0△0	1●3	0●1	*	4○0	4	5	4	+1
5	群馬県	0●6	2●4	0●1	0●4	*	0	2	15	-13

※2月に順位戦を行う

第8回関東女子トレセンリーグ(U-12)

●第4節終了時点

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	埼玉県	12	4	0	0	+19
2	東京都	9	3	0	1	+9
3	栃木県	9	3	0	1	±0
4	神奈川県	7	2	1	1	+15
5	千葉県	5	1	2	1	+3
6	茨城県	1	0	1	3	-6
7	群馬県	1	0	1	3	-15
8	山梨県	1	0	1	3	-25

第15回首都圏少女サッカー交流大会

9月23日 赤羽スポーツの森公園競技場

1回戦 埼玉県選抜 1-1 栃木県選抜 (2PK4)

順位決定戦 埼玉県選抜 4-0 茨城県選抜

審判委員会より

●12月レフリートレセン報告

(財)埼玉県サッカー協会 審判委員会 指導部部长 木村 滋

12月11日(土)さいたま市共済会館において行われました、12月のレフリートレセンについて報告いたします。プラティカル・フィットネストレーニングなど、実技中心のトレセンとは違い12月のトレセンでは、講演、プレゼンテーション、ルールテスト、研修会報告という内容で実施いたしました。

講演は、JFA 1級審判員である前之園晴廣氏を迎え「1級レフリーの心構え、取組」について、お話をさせていただきました。

プレゼンテーションでは、審判インストラクターの半根浩次氏より「ベンチコントロールについて」というテーマで行っていただきました。

ルールテストについては関東社会人大会の問題を参考に出題しました。

研修会報告では、強化審判員研修会に参加した田辺さんよりVTRを使った報告、関東トレセンから選ばれ、中央トレセン(大阪)に参加した八島さんからは、パワーポイント、資料を使った報告がありました。

今回の研修会には師走の大変忙しい中、57名の参加をいただきました。用意した部屋がいっぱいになり参加された方々には不自由をおかけしました。指導部では、更なる内容の充実を図り、多くの審判員とともに埼玉サッカーの発展に努力していきます。

(財)埼玉県サッカー協会はフェアプレー日本一を目指します。ご協力よろしくお願いいたします。



●第2回審判インストラクター研修会開催

(財)埼玉県サッカー協会 審判委員会 インストラクター部部长 田中 忍

現在埼玉県には、67名の3級審判インストラクターが登録されています。

活動の形態は様々ですが、審判活動の普及・強化のために講習会での講師、試合会場での審判員の指導などに当たっています。

今年度より、各市町FA等に1名以上のインストラクターが配置できるように審判インストラクターの増員も図っています。

3級審判インストラクターを対象に「2010年度第2回審判インストラクター研修会兼3級インストラクター更新講習会」を12月11日さいたま共済会館502号室で開催しました。

研修会では、審判委員長の挨拶、インストラクター部長の挨拶に続き、競技規則のテスト、事例研修としてグループ討議を行いました。

グループ討議は、7~8人のグループに分かれて、与えられたテーマについて話し合い、グループとしてのまとめをし、発表するという形式で行いました。

8グループの発表でしたが、どのグループも短時間で、視点を明確にして、分かりやすく発表できていたのが印象的でした。

インストラクター諸氏が高いプレゼンテーション能力を身につけたことに、研修会の取り組みが確実に現れていることを実感しました。

この講習会までに、新規に資格を取得したインストラクターの為に「育成講習会」も開催してきました。

4月から11月の8カ月の間に、4回の研修を開催して、インストラクターとしての力量を高める研修を実施してきました。

来年度は、さらにインストラクターとしての資質向上を目指し「ステップアップ研修会」を開催して、さらに質の高い審判インストラクターを輩出していきたいと考えています。

インフォメーション

●東松山市サッカー協会創立50周年記念式典・祝賀会開催

11月14日、東松山市・紫雲閣において、東松山市サッカー協会創立50周年記念式典・祝賀会が開催された。記念講演として横山副会長による「FIFAワールドカップとシステムの変遷」で始まり、記念式典と祝賀会では多数の来賓からの祝辞が述べられた。東松山市協会の益々のご発展をお祈りいたします。



挨拶する吉田栄三郎・東松山市サッカー協会会長

●「レディースサッカーフェスティバル」開催

2月26日、東松山のリコーグラウンドにおいて、高校生年代以上の女性を対象にした「レディースサッカーフェスティバル」が開催される。内容は8人制のゲーム。参加費は無料。女子連盟のホームページ(<http://sfajyoshirenmei.la.coocan.jp/>)から申込書をダウンロードし、FAXにて申し込んでください。宛先は0480-29-1024(県立久喜高等学校内:埼玉県女子サッカー連盟女子技術委員長 長谷川暁雄まで)。申込締め切りは、2月18日17時まで。詳細は、女子連盟のホームページをご覧ください。

編集後記

●皆様には希望に満ちた新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。昨年は女子のカテゴリーの活躍が目立った年でした。元旦の国立では、レッズレディースがPK戦で全日本女子のタイトルを逃してしまいました。今年の干支である「ウサギ」のごとく広い視野と高い聴力・高い跳躍力で埼玉サッカーの発展を祈ります。(高橋)

●12月23日に埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会の準決勝と決勝戦が埼玉スタジアムで開催され、午前中スタジアム見学ツアーの受付係を担当しました。午前9時30分から午前11時までの間、10グループ28チーム395人の案内を埼玉スタジアムのスタッフの方をお願いしました。周辺ではJAグループ埼玉のみなさんによ

る野菜の即売会と豚汁のサービスコーナーが大繁盛でした。子供が参加するところにはお母さんが参加することが多く家族中が参加しているように感じられました。また今年が楽しみです。(森山)

●新年を迎えたばかりですが、既に高校選手権・アジアカップとビッグイベントが既に行われました。サッカーにオフは無いようですね。(坂庭)

●2011年の目標は、『ポルトガル語習得』と『ジョギング実行&腹筋5回達成』。……頑張ります!(こいち)

●友達に赤ちゃんが産まれました~。予定日を過ぎても気配がなく1週間が過ぎ、10日目にしてやっと嬉しいお知らせが!よっぽど居心地の

良いお腹だったようで、4,000gを超えるまでに大きく育っていました。(笑・かのう)

●手つかずだった、あの教材を……今年こそは開封するぞ(笑)。2011年、継続は力なり!頑張りましょう!!(小豆澤)

●兄の子供と初対面しました!初めて赤ちゃんを抱いたので怖かったです。でも可愛かったです。これからの成長が楽しみです!サッカーをやってくればいいんですが……(笑・佐々木)

●第4回第4種サッカーリーグ戦・選手権大会も12月23日、埼玉スタジアム2002メインで行われた決勝戦で幕を閉じました。第5回大会の開催が楽しみです。(栗島)